

【第 8 次カンボジア小学校建設活動】

活動報告書



報告者： 氏名：東洋大学 3 年 河野 梓

報告日： 平成 29 年 3 月 30 日

特定非営利活動法人

国際ボランティア学生協会



活動概要

【背景】

カンボジアでは 1970 年代のポル・ポト政権により、学校の破壊、知識階級層の大虐殺が行なわれ、教育基盤はほぼなくなりました。

現在の就学状況も悪く、小学校で約 69%、中学校では約 17%(外務省 平成 26 年度諸外国・地域の学校情報より)となっており、字が読めずに薬の効能や地雷原の標識が理解できないなどの問題も起きています。

それに対し IVUSA は、学校建設という手段を通してカンボジアの子どもたちに 2008 年から教育支援活動を始め、今までに 6 つの小・中学校、1 つの図書館を建ててきました。学校建設費用を集めるために、学生たちが自ら街頭にたち募金活動を行っています。その他にも、前回に引き続き静岡県西伊豆町とも連携をして活動を行っています。

この活動は多くの方々のご支援ご協力により成り立っています。

【目的】

「想いをつなぎ、ともに新たな未来をカタチ創る」

- ・ ニーズの完遂（学校の完成 = 子どもの未来）
- ・ 支援者の気持ちを現地へ届ける
- ・ 今後の支援のあり方を考える

【概要】

■主催

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

■活動日程

2017 年 3 月 3 日～3 月 14 日

■活動場所

カンボジア王国コンポンチャム州ソテントロン郡サンボー区ポン村

■活動内容

- ・ 小学校の建設活動
- ・ カンボジアのこどもたちや学生との交流
- ・ スタディーツアー
- ・ 観光ツアー

■参加人数

12日間合計 延べ110人

(IVUSA 学生 84 名、事務局員 1 名、現地の協力団体 8 名、カンボジア学生 9 名、現地の大工さん 9 名)

■総作業(ボランティア)時間

延べ 3234 時間

■参加者所属大学(敬称略・順不同)

立命館大学、龍谷大学、同志社女子大学、同志社大学、関西大学、近畿大学、長崎県立大学、滋賀大学、京都産業大学、京都外国語大学、東洋大学、駒沢女子大学、法政大学、日本大学、高崎経済大学、群馬県立女子大学、東京家政大学、フェリス女学院大学、中央大学、神奈川大学、拓殖大学、駒沢大学、國學院大學、埼玉県立大学

計 24 大学

■協力(敬称略・順不同)

KHJ Construction Co. Ltd

■寄付・協賛(敬称略・順不同)

企業名：株式会社モキ製作所

協賛品：無煙炭化器

活用場面：無煙炭化器は花壇の土に混ぜる炭を作るのに使用。

Facebook：<https://www.facebook.com/npoivusa/posts/1293127040766095:0>



企業名：興研株式会社

協賛品：使い捨て式防塵マスク DS2 サカキ(い)式ハイラック 355 型

活用場面：建設活動をしているときに着用し、砂を体に吸い込まないように使用。

Facebook： <https://www.facebook.com/npoivusa/posts/1293094457436020>



企業名：福德産業株式会社

協賛品：軍手、吸ちゃん(小サイズ)、滑り止め付き軍手 CuCuRa

活用場面：建設活動中に左官作業などする際に手の怪我などしないようにするために使用。

Facebook： <https://www.facebook.com/npoivusa/posts/1293093900769409>



活動内容

○1日目 3/3 (金)

関東関西計 85 名(事務局員 1 名含む)がホーチミンを経由してカンボジアに到着しました。

○2日目 3/4 (土)

午前に隊員 85 名でキリングフィールド、トゥールスレンを見学し、午後にはカンボジア学生 9 人と合流しました (IVUSA 学生 84 名、事務局員 1 名)

○3日目 3/5 (日)

午前中に前回建設したミヤック小学校にいき、子どもたちと運動会を実施しました。企画終了後には、バスに乗りこれから建設するコンポンチャム州ポン村に移動しました。(IVUSA 学生 84 名、事務局員 1 名、カンボジア学生 9 名)

○4日目 3/6 (月)

学校建設活動 1 日目。学校の壁にセメントを塗る作業や、そのセメントを作る作業を行いました。(IVUSA 学生 84 名、事務局員 1 名、カンボジア学生 9 名)

○5日目 3/7 (火)

学校建設活動 2 日目。セメント作りと左官作業を主に活動を行いました。小学校の正面の上部分の二度塗り、教室の中の壁の二度塗りをしました。

○6日目 3/8 (水)

学校建設活動 3 日目。セメント作りと左官作業を 3 日目も行いました。隊員が作業に慣れてきたこともあり、予定していた以上に作業効率があがり進みも早くなっていきました。

○7日目 3/9 (木)

学校建設活動 4 日目。5 現場にわかれて、ペンキの一度塗り二度塗りを行い、午前中に小学校の正面と側面背面の一度塗り二度塗り、5 教室の一度塗りを終えました。

○8日目 3/10 (金)

学校建設活動 5 日目。午前中に 3 現場にわかれてセメント作り、花壇、階段づくり、窓と扉のペンキ塗りを行いました。午後は、セメント作り、花壇と廊下作り、ペンキ塗りの仕上げ、看板の設置を行いました。作成した花壇に種を植えて、ポン小学校を無事に完成させることができました。

○9日目 3/11 (土)

ポン村小学校で開校式を行った。ポン村の人たちが多く集まってきました。開校式のあとは、建てたポン村で企画を実施し、子どもたちに音楽や美術の楽しさを伝えることができました。

○10日目 3/12 (日)

世界遺産でもあるアンコールワットに観光しにいきました。スケジュールがおしていたこともあり、走りながらという形にはなりましたが、隊員も楽しく観光ができていました。

○11日目 3/13 (月)

この日は午前中にシェムリアップにあるゴミ山を見に行きました。カンボジアの未来について考える機会になりました。午後はオールドマーケットに行き、買い物を楽しみました。夕方には空港に向かい関東関西別れて飛行機に乗りました。

○12日目 3/14 (火)

無事に関東は成田空港、関西は関西空港に到着しました。
(IVUSA 学生 84 名、事務局員 1 名)

活動成果

・学校の完成

教室内外の左官作業、セメント作り、ペンキ塗り(5 教室 1 校舎)、床・廊下の左官作業、花壇作成

→木造でできている校舎で、1 年生から 4 年生までしか授業が開講されていなかったのが、5 教室分の学校が建ったことで子どもたちの学ぶ環境を整えることができた。床や廊下も左官作業をして整え、学校の前には花壇は、植物の成長をよくするために土に炭を混ぜて作成することができた。

・未来をカタチ創るための企画 2 つ以上の実施

【運動会企画 (ミヤック小学校)】

内容：チャンハブ、多人多脚、リレー、応援合戦

→運動会を実施することで、体を動かすことの楽しさ。自分自身を表現することの楽しさを IVUSA 学生が一緒になってやることで伝えられた。

【Let the class(ポン村、開校式)】

内容：手形の作成、マイムマイムを踊る

→音楽や美術はカンボジアではなじみがなく、授業として行われていない。協調する力や表現力、豊かな感性を子どもたちに“授業”というカタチで伝えられた。

* 寄付品の贈呈 (文房具、ボール、ピアノカなど)

ミヤック小学校とポン小学校へ

【メディア掲載】

名称	掲載日／放送日時	掲載面／番組名
SEATV	3月13日	
Kohsantepheap Newspaper	3月13日	



所感

私は、カンボジアを、教育支援を通じて「自分で人生を自由に選択できる環境」に少しでも近づけたいと思い、今回もリーダーとして活動に取り組みさせて頂きました。

ミヤック小学校での運動会企画は、予想を超える子どもたちが集まり、リレーや応援合戦を行いました。子どもたちの中には、7次隊で小学校を建てた時のことを覚えている子どもも多く、活動の繋がりを改めて感じる事ができました。

その後に訪れたポン村でのホームステイと建設活動は、正直不安も大きかったです。しかし、村の方が私たちに不自由ないようにととても親切に接して下さり、毎日快適で充実した日々を送ることができました。それに応えるかのように、隊員も毎日40度近い猛暑の中、子どもたちや仲間と共に作業を続けました。

学校完成日、ポン村の方の「こんな立派な校舎は見たことがないです。ありがとう。」という言葉と、流して下さった涙を見たときは、無事学校が完成した安堵感と、嬉しさがこみ上げてきました。このポン小学校で学んだ子どもたちが、将来カンボジアを背負って立つ姿を見るのが楽しみでなりません。

しかし、カンボジアにはまだまだ貧困や環境の問題も多く残っています。この活動を通してカンボジアにかかわる人々が増え、支援の輪が広がり、カンボジアのすべての地域が「自分で人生を自由に選択できる環境」になるようにと願っています。そのために、今後私自身もできることは何かを考え、関わり続けていきたいと思っています。

最後に、この活動ができたのは、藤原さん、協賛を下された企業様、西伊豆町の方々、募金に協力して下さった約 6,000 名の方々、現地スタッフの方々、事務局の高井さん、と陰で多くの方のご尽力があったからこそです。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。(東洋大学 4 年 勝又栄政)



特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

災害救援、国際協力、環境保護、地域活性化の 4 分野を柱とし、カンボジアでの小学校建設活動、多摩川清掃、中国黄土高原緑化活動など、多岐に渡って活動を展開。2002 年 5 月に、特定非営利活動法人の認可を受け、2006 年には、過去 50 回に及ぶ災害救援活動と、日々の会員の危機管理講習や災害想定訓練が評価され内閣総理大臣表彰を頂きました。また、国内外あわせて、今までに 1,866 (2014 年度末) の事業を実施。現在では首都圏・近畿地方を中心に、約 90 大学、約 3,500 人の学生会員が所属しています。

<本部>

住所 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 1-34-4 ザ・アゼリアハウス B-102

TEL/FAX 03-6751-2683 E-mail:ivusa-office@ivusa.com URL <http://www.ivusa.com>

<関西事務所>

住所 〒569-1121 大阪府高槻市真上町 1-1-18 Insist2 1 - 3B

TEL/FAX 072-601-5109 E-mail:ivusa-office@ivusa.com